



木の实谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第10号」
令和5年1月19日発行
「誉れ・希望・誇り」

「継続は力なり」～『1.01の法則』と『0.99の法則』～

校長 水科 貴之

新年明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様方におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1年間の締めくくりであり、来年度の準備期間でもある3学期がスタートしました。

3年生は自分で決めた将来の夢や目標の実現のため、まずは目の前に迫った高校入試に向けて最高の準備をしてください。私立高校の受検は1月中旬に、公立高校の受検は3月上旬に実施されます。もちろん、最後の仕上げとしての学力も大切ですが、何といたっても日々の体調管理がより大切です。

1、2年生は3年生の背中を見ながら、1年後、2年後の自分の進路の決定・実現に向けた努力を積み重ねていってください。

ところで、右の数字は何を表していると思いますか。

これは、楽天の三木谷社長が執筆した「成功のコンセプト」に記載されている内容で「努力」という目に見えない物を数値化したものです。今回は『1.01の法則』と『0.99の法則』についての内容です。

今現在の自分の力を「1」とし、1日に1%の力（わずかな努力）を身に付けたとします。次の日もまた1%を上積みする、これを1年間続けていくと、 $1.01 \times 1.01 \times 1.01 \times \dots \times 1.01 = 1.01^{365} = 37.7834343$ となり、その数はおよそ38倍（大きな力）になります。これが『1.01の法則』です。

また、この逆が『0.99の法則』です。毎日1%ずつ努力を怠っていくと、1年後には $0.99 \times 0.99 \times 0.99 \times \dots \times 0.99 = 0.99^{365} = 0.0255179645$ となり、その数は限りなく「0」（何もしていないことと同じ）に近くなります。ちなみに、1日1%がどれくらいの時間になるかというと、わずか14分～15分です。（1日24時間は1440分でありその1%）

つまりこの法則は、スタートは同じ「1」だった力が、ちょっとした努力や意識の差によって1年後には、大きな差となって現れるという考え方です。

毎日の授業や家庭学習、部活動や地域スポーツ活動、生徒会活動や地域貢献活動など、どんな場面でも構いません。1日わずか14～15分間、この少ない時間、どんなに小さなことであっても意識しながら本気で努力することで、1年後には「38倍の効果」を生み出すことができるということです。「継続は力なり」です。

1.01の法則 $1.01^{365} = 37.8$ こつこつ努力すればやがて大きな力になります
0.99の法則 $0.99^{365} = 0.03$ 逆に、少しサボれば、やがて力はなくなります

毎日多数の保護者・地域の皆様から当校のホームページを閲覧していただきありがとうございます。
3学期も生徒の活動の様子や学校の様子等をタイムリーにお知らせしていく予定です。ぜひ、ご覧ください。

<1月10日 3学期始業式>



例年に比べて雪の少ない年末・年始となりました。元気な生徒の姿が、学校に戻ってきました。3学期は学年のまとめと次の学年への準備の学期となるため、「0学期」と呼ばれることもあります。12月の学校評価の生徒アンケート結果から「将来への夢や希望をもっている」の肯定的評価が11%アップしたことから、2学期の活動が成果につながりました。反面、メディアの視聴時間が長く、家庭での学習時間が短いことや生活習慣（睡眠時間の確保、バランスのよい食事等）に課題があることがわかりました。（詳細については、学校評価結果をご参照ください。）3学期は自分がやることのプランを練って、授業と家庭学習を連携して、学習した内容の質を高めるチャレンジに取り組んでほしいと願います。

2月		【第5期 まとめ・新生期】 ・1年間の振り返りと成果の確認をし、新たな目標を立てよう。 ・卒業に向けて感謝の気持ちを表し、よき伝統を引き継ごう。
2日	木	避難訓練③（原子力災害想定）
3日	金	新入生説明会
7日	火	小中合同学校運営協議会②
8日	水	専門委員会
9日	木	テスト前部活停止（～15日） 1・2年放課後学習会 メディアセーブ・ウィーク④（～15日）
10日	金	1・2年放課後学習会 漢字検定
14日	火	1・2年放課後学習会 スクールカウンセラー来校日
15日	水	1・2年定期テスト⑤（～16日）
17日	金	P T A役員会・理事会 ワックスがけ
21日	火	3年同窓会入会式
22日	水	生徒総会 引継式 三送会
24日	金	1・2年学級P T A 授業参観
27日	月	吉川区小中合同推進会議③
28日	火	3年P T A会計監査



<インフルエンザの流行の兆し、コロナ感染症にも引き続き注意を!>

12日、新潟県のインフルエンザが流行期に入ったと報道があったことから、うがい・手洗いの徹底を家庭でもお願いいたします。

十分な睡眠時間を確保し、バランスのよい食事を取ることや防寒に努め、免疫力UPをはかりましょう。体調が優れないときは無理をせず休養することが必要です。

欠席の連絡は平日7時45分～8時10分、生徒玄関の解錠は7時30分からとなります。緊急の場合は **吉川中学校緊急電話 080-7189-0896**へお願いします。



吉川中学校令和4年度学校評価のまとめ

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校では保護者の皆様からいただきましたご回答や、生徒、職員の回答をもとに、教育活動を振り返り、3学期の取組を始めています。学校評価アンケートの集計は、学力向上（学）、豊かな心・社会性育成（徳）、たくましい身体育成（体）の3つの視点で行いました。要約してそれらの受け止めを記載させていただきました。

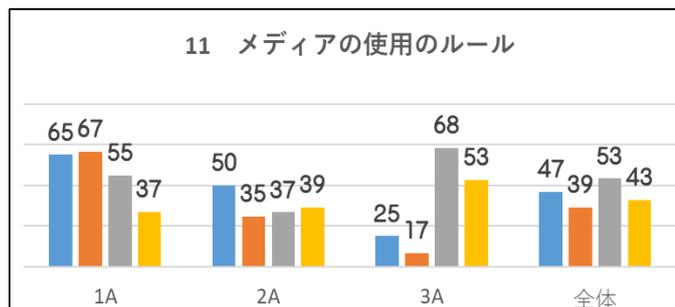
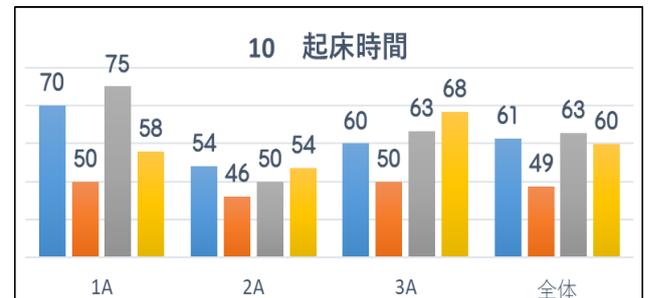
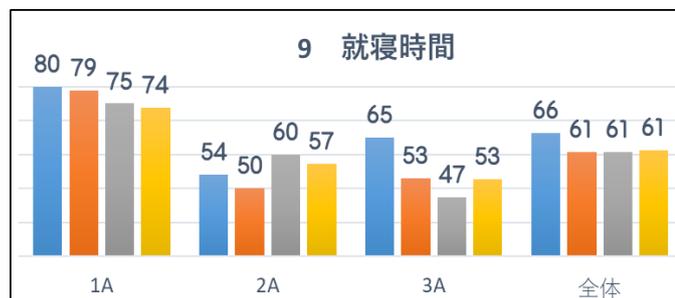
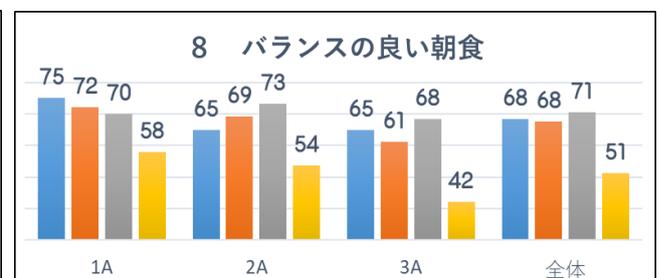
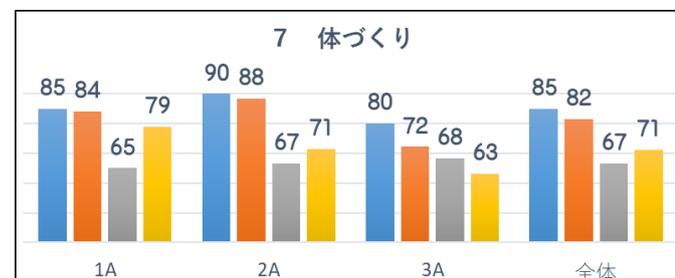
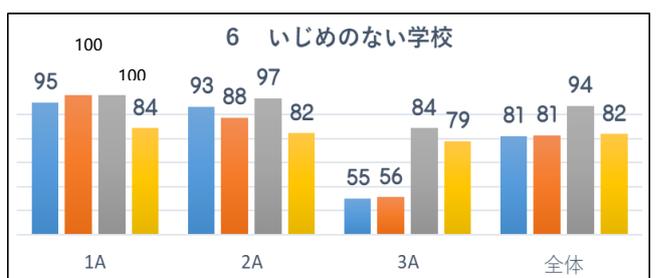
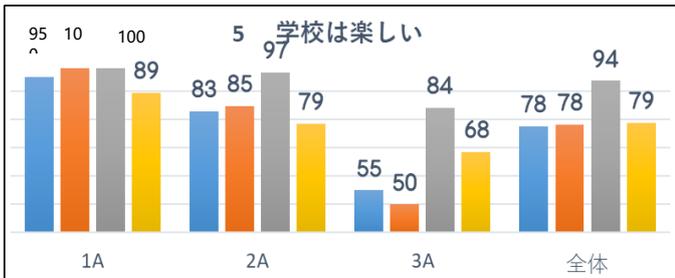
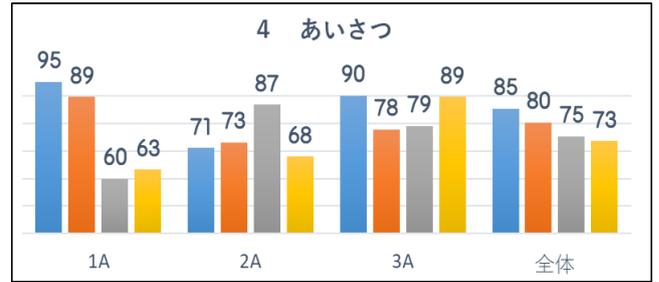
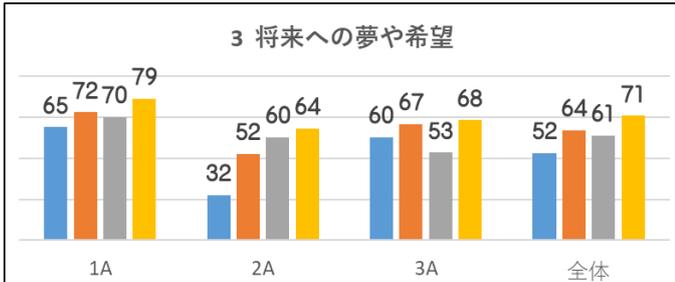
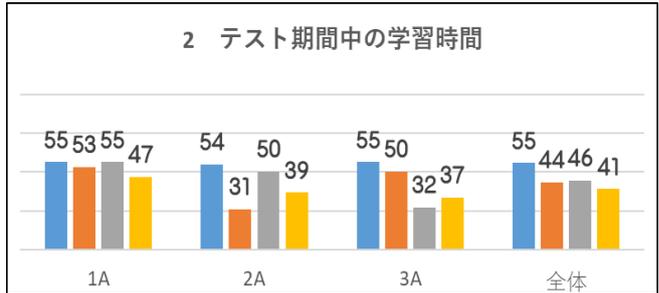
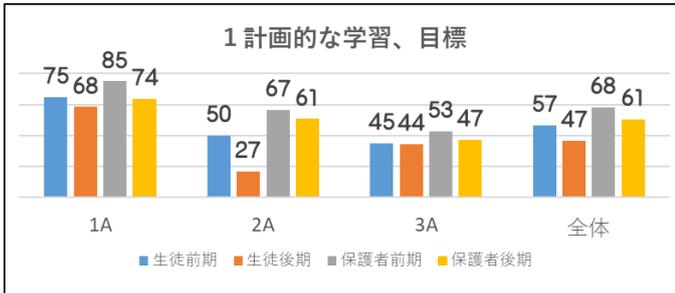
学校評価アンケート回答数値の内容

4：そう思う（当てはまる）	*肯定的評価は4、3の数値合計
3：だいたいそう思う（だいたい当てはまる）	
2：あまりそう思わない（あまり当てはまらない）	
1：そう思わない（当てはまらない）	

		番号		(番号は生徒、保護者アンケートの質問番号)
1	生徒	1	知	家で、自分で目標や計画を立てて勉強をしていますか。
	保護者	2	知	子どもは、目標や計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。
2	生徒	2	知	毎日（テスト期間以外の平日）の学習時間は何分くらいですか。 4【90分以上】 3【60～90分未満】 2【30～60分未満】 1【0～30分未満】
	保護者	3	知	子どもは、テスト期間以外でも学年取組時間（1年生は70分以上、2年生は80分以上、3年生は90分以上）の家庭学習に取り組んでいる。
3	生徒	3	知	将来への夢や希望をもっていますか
	保護者	4	知	子どもは、将来への夢や希望をもっている。
4	生徒	8	徳	自分から進んで家族や友達にあいさつできましたか。
	保護者	5	徳	子どもは、家の人や近所の人に自分から進んであいさつしている。
5	生徒	9	徳	学校は楽しいと感じていますか。
	保護者	6	徳	子どもは、楽しそうに学校生活を送っている。
6	生徒	10	徳	あなたのクラスには、いじめや差別をしない・させない・見逃さない 雰囲気がありますか。
	保護者	7	徳	子どもは、いじめやいやがらせを受けることなく、安心して生活している。
7	生徒	15	体	体力作り（部活動等を含む）に積極的に取り組むことができましたか。
	保護者	8	体	子どもは、積極的に体を動かそうと取り組んでいる。
8	生徒	16	体	朝食をバランスよく食べていますか。 4【主食＋主菜＋副菜】 3【主食＋主菜】 2【主食のみ】 1【食べない】
	保護者	9	体	子どもは、朝食で主食・主菜・副菜などバランスよく食べている。
9	生徒	17	体	平日は何時頃寝ますか。 4【10時までに】 3【11時頃までに】 2【12時頃までに】 1【12時以降】
	保護者	10	体	子どもは、夜11時ごろまでに寝るようにしている。
10	生徒	18	体	平日は何時頃起きますか。 4【6時までに】 3【6時半までに】 2【7時までに】 1【7時半までに】
	保護者	11	体	子どもは、朝6時30分ごろまでに起きるようにしている。
11	生徒	19	体	メディアの使用について、家族や自分自身で使用や時間のルールを決めて使っていますか。
	保護者	12	体	子どもは、テレビ、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機など、使用や時間のルールを決めて使っている。

R4前後期生徒・保護者アンケート比較

グラフは左から生徒前期、生徒後期、保護者前期、保護者後期の肯定的評価結果 (%) です



* 3年保護者アンケート前期の数値が間違っていました。お詫びして訂正させていただきます。

教育目標「向上心に燃え、心身ともにたくましく実践力のある生徒」の達成を目指して

【学力向上】：向上心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒の育成

【研究主任：堀井 彩瑛】

○良好な点

生徒：「授業を通してできた・分かったと感じ、学習意欲が高まった」84%→81%（3%減）

職員：「授業スタンダードをもとにした授業改善の取組」100%（前後期同じ）

「考え議論する道徳の推進」の肯定的評価91%→100%（9%増）

・「課題提示やまとめ、振り返りがあって分かりやすかった」と記述する生徒もおり、重点取組としている「吉中授業スタンダード」に基づく授業やUDプレートの活用が定着し、生徒の学びに繋がっていると考えられる。また、前期に課題となっていた「考え議論する道徳の推進」も職員が意識し、改善することができた。

●課題となる点

【ICTの効果的な活用】

- ・積極的にICTを活用している職員が増え、意識の高まりはあるものの、全体としてはまだ改善の余地がある。
- ・教科の特性を生かし、研修を通して生徒の学びに繋がるICTの活用を考え、進めていく。

◇3学期の取組

【職員間によるプチ授業参観の継続】

・全職員が毎週他教科の授業を参観することで、授業スタンダードの実践やipadの活用等に対する意識を高めると同時に、それぞれの指導改善に努める。

【タブレットを用いた家庭学習と授業との接続】

・タブレットの持ち帰りに伴い、授業の資料を事前に提示する等、家庭学習と授業の接続を工夫する。

【豊かな心・社会性の育成】：自らを律しつつ、他と協働して活動する生徒の育成

【生徒指導主事：覚張 壮】

○良好な点

【いじめを見逃さない集団づくり】

生徒：「いじめをしない・見逃さない・許さない態度で生活できた」92%→99%（7%増）

・小中合同で行ったいじめ見逃しゼロスクール集会に主体的に取り組むなど、人権意識を高めることで「いじめを許さない、起こさない。」という想いを全校で共有することができた。

【温かな人間関係づくり】

生徒：「友達に思いやりをもって接することができた」94%→95%（1%増）

・授業に取り組む態度や、友人間での言葉づかいや言葉選びを見直すことで、相手の心を尊重し合える仲間づくりを進めることができた。

●課題となる点

・思いやりをもった行動ができると回答した生徒が非常に多い一方で、「学校を楽しく感じている」と回答した生徒は78%（前後期同じ）と8割に達していない。

・「自分から進んであいさつできた。」と回答した生徒 85%→80%（5%減）

◇3学期の取組

【プラスのメッセージを伝え合える環境づくり】

・フォトギャラリーの設置や、技能教科の作品の展示などを行い、互いの良いところを言葉にして伝えることができる機会を増やしていく。

【主体的に生徒会活動へ取り組む】

・吉川中学校の生徒は、与えられた課題や仕事に対して一生懸命取り組むことができる。一方で、代々引き継がれてきた仕事や行事がマンネリ化しているのではないかと感じている生徒もいる。どうすればより良い吉川中学校をつくれるのか。全校のみんなが過ごしやすい環境をつくるにはどうするべきか生徒一人ひとりが考え、行動することができる集団、雰囲気づくりを行っていく。

【たくましい身体育成】：心身の健康を保ち、体力の向上に努める生徒の育成

【保健主事：竹内美穂子】

○良好な点

生徒：「体力づくりに積極的に取り組んでいると答えた」 85%→82%（3%減）

・年間4回の定期テストに合わせてメディアセーブウィークを設定している。その期間は、家族ぐるみで取り組んでいる家庭が多い。

●課題となる点

保護者「バランスよく朝食摂取しているか」71%→51%（20%減）

保護者「家庭内でメディアを利用するためのルール」53%→43%（10%減）

・朝食の時間が取れるようゆとりをもって生活する。11時前に就寝できるよう工夫して生活する。
・メディアルールの項目は、前回と同様に低い結果となった。平日3時間以上メディアに触れている生徒が約3割いる。タブレットを持ち帰るようになったことで、利用時間が増えている。例えば、学校のタブレットの設定と同じように夜10時から翌朝5時までは使用できないように設定し、夜10時以降に家族のいる部屋で充電するなど、親子で話し合っ具体的家庭のルールを決める必要がある。

・就寝時刻の夜11時までに寝ていると答えている生徒は61%（保護者も同じ）12時以降と答えた生徒は15%。常に寝不足の状態なので、家庭との更なる連携が必要である。

・体力テストの結果では、全国平均を大きく下回った項目は、「20m シャトルラン」（全身持久力）と「長座体前屈」（柔軟性）だった。

・感染症対応について、休み時間など特に密になりがちなので、人との距離を保って学校生活を送れるように意識する。マスクの着用、換気、人との距離を保つなどの意識をもって生活するよう呼びかけや指導を継続する。

◇3学期の取組

・冬期間はタブレットの持ち帰りを毎日行うが、持ち帰っている意味を生徒に考えさせ、望ましい生活習慣の定着を実践できるよう家庭と連携していく。

○ 保護者アンケート結果より（コメントより一部抜粋）

【タブレット】

・タブレットは学校と家庭との連絡を密に行うためにも使用します。保護者の閲覧について学校でも指導を行います。お子さんと使い方のルールをよく確認していただき、ご家族にも周知をお願いします。

【部活動の地域移行】

・生徒数の減少が全国的な課題となっていることから、学校で設置する部活動も人数がそろわなかったり、合同チームを作ったりしなければならなかったりと課題がありました。そのため、「子供自身が希望する部活動に所属して活動ができる」を目指し、地域スポーツ団体(クラブ)での大会参加や合同チーム編成の見直しなど、部活動のあり方が大きく変わってきています。詳しくは県や上越市配付のパンフレットをご覧ください。

【体操着登校】

・降雪時の登校は天候に応じて体操着を着用してかまいません。教室では常時換気を行っているため、寒く感じると思いますが、下着(長袖やヒートテック素材等)、ベストやカーディガン、女子はストッキングやスラックス(制服ズボン)を着用する、膝掛けを利用する等、体調管理に努めてください。

【テストについて】

・学校では、3週間前にテスト範囲を提示し、計画表を作成してテストに臨めるようにしています。出題については範囲の教科書・ワークから出ているものもありますが、従来の知識を問う問題だけでなく、発展的な内容を問う問題も含まれる場合があります。授業では理解できてもそれだけでは十分とは言えません。学校評価から家庭学習の時間が少ない結果が出ていますので、じっくり取り組めるようお子さんへお声がけをお願いします。

【いじめ・トラブルについて】

・保護者・地域の皆様のいじめやトラブルに関する見守りや情報提供をいただき、それが安心して通える学校づくりに生かされていることに感謝申し上げます。様々なケースへの対応が求められることから、スクールカウンセラーや関係機関とも連携を図っています。お子さんをご家庭で見守っていただき、お気付きの点や心配事がある場合は、いつでも遠慮なく学校へご連絡いただけるようお願いいたします。